

コロナに負けるな！ いま、できることを！

徳島県老人福祉施設協議会 新型コロナウイルス感染症対応ワーキングチームからの発信

日本国内の福祉施設では、入所者・職員及び職員の家族の感染が判明し、感染者はさらに増える恐れがある状況となっています。

このような中、徳島県老人福祉施設協議会では、新型コロナウイルス感染症対応ワーキングチームを立ち上げ、感染防止対策に向けた情報収集・発信や集団感染発生施設への後方支援等に取り組むこととなりました。

利用者や職員、地域住民の生命及び安全な生活を守るために準備を進めましょう。

感染が疑われた場合の対応方法を職員間で共有しましょう！

利用者が感染されているかと思ったら、どのように対応すべきかを職員間で再度、確認をしましょう。高齢者は、入院により対応することが想定されていますが、一定時間、施設に留まることとなります。集団感染対策としての行動シミュレーションを重ねていきましょう。

利用者のサービス提供継続において検討を重ねましょう！

介護や支援が必要な利用者へのサービスの提供継続について、事前に検討することが必要です。利用者一人ひとりに応じた支援の優先順位や最低限必要なサービスの提供について、職員の配置を考慮しつつ、検討を重ねていくことが重要です。

食事提供体制の継続において体制を考えましょう！

食事提供体制が不十分になったとしても、栄養士による管理の下、食事を提供することが求められます。そのために、チルド食や食形態に応じた備蓄を行いましょう。また、業者に食事提供の相談をするなど外部との協力体制の構築をすすめていきましょう。

徳島県老協ホームページでは、新型コロナウイルス感染症対応に関連した情報を掲載しています。本会においても、会員施設における感染に備え、衛生用品等の備蓄をすすめています。